平成２８年５月２０日

広島大学教職員組合執行委員長
難　波　　博　孝　　様

広島大学理事（財務・総務担当）
片　山　純　一

「広島大学教員エフォート指数（Ｂ－ＫＰＩ）」に関する要求について（回答）

２０１６（平成２８）年５月９日付けで要求のありました標記のことについて，下記のとおり回答します。

記

要求事項
１．Ｂ－ＫＰＩの設置について
Ｂ－ＫＰＩはなぜ設置するのでしょうか？その理由と目的をご説明下さい。

（回答）
本学は，「世界トップ100に入る」という目標を掲げており，目標を達成するためには，各教員が教育／研究／社会貢献活動に十分に能力を発揮できるように大学側が環境を整えるとともに，適切に教員を配置する必要があります。
そのためには，教員の全活動の可視化が不可欠であり，教員の全活動を可視化する全学共通の尺度「教員エフォート指標（B-ＫＰＩ）」を設定いたしました。

要求事項
２．Ｂ－ＫＰＩのポイントについて
(1) Ｂ－ＫＰＩは種々の業務内容を数値（ポイント）化しています。なぜ，数値で表現するのでしょうか？
(2) 種々の業務内容にはポイント数が設置されていますが，そのポイント数の根拠は何でしょうか。

（回答）
(1) Ｂ－ＫＰＩは，それぞれの教員が，様々な職務にどれくらい関わっているのかを数値化しております。様々な面から各教員の活動状況の可視化を行う必要があり，数値化が不可避になります。
(2) Ｂ－ＫＰＩの基本概念として，授業担当分と他の職務分担を同じ尺度でポイント化するために，職務を１週間の時間割表で考え，時間をポイント化しています。

要求事項

３．Ｂ－ＫＰＩの使用について

(1) Ｂ－ＫＰＩは教員の個人評価に使用するのでしょうか？また，教員の個人評価に使用する場合，各部局等で定めた教員個人評価との関係はどうなりますか？

(2) 上記の教員個人評価以外において，Ｂ－ＫＰＩの結果を使用する予定がありましたら，それらすべてをご説明下さい。

（回答）

項目１にて回答いたしましたとおり，現時点においてＢ－ＫＰＩは，教員が能力を十分に発揮できるように環境を整え，適切に教員を配置するための指標の一つと考えています。